

新渡戸稲造 (にとべ・いなぞう) 1862~1933

教育家・国際人・農政学者 ~太平洋の橋~

出生 文久2年8月8日(1862)盛岡(現・盛岡市)に南部藩士の三男として生まれる。祖父伝は三本木(現・十和田市)の開拓者。幼名稲之助。叔父の養子となり太田姓を名乗るが、長兄の死後、新渡戸姓に復帰する。

履歴 東京外国語学校を経て、札幌農学校第2期生として入学(1877)在学中に内村鑑三等とともに洗礼を受けた。東京帝国大学選科を経て、米国へ私費留学、ジョンズ・ホプキンス大学で経済学などを学ぶ。この間、沈黙をとおして神の声をきくクエーカー教徒(フレンド会)となり、夫人となるメアリ・エルキントンと出会う。その後、農政学研究のためドイツへ官費留学、帰国後、札幌農学校教授(1891)、台湾総督府技師(1901)、殖産課長、京都帝国大学教授、第一高等学校校長(1906)等を歴任。第1回日米交換教授として渡米後、東京帝国大学教授専任(1913)、のちに東京女子大学初代学長(1918)となる。さらに、国際連盟事務局次長(1920~26)、貴族院議員(1926)、太平洋問題調査会理事長(1929)を歴任。



事績 教育家としては、民主主義思想教育の先覚者だった。人格や個性の尊重、社交性、幅広い教養、平和国家の信念などを説いた。学校教育だけではなく、社会教育や女子教育に熱心で、札幌に夜学校を設立し、東京女子大学初代学長となった。『実業之日本』に修養講話を連載し、『修養』『世渡りの道』を刊行するなど、青年に大きな影響を与えた。また、国際的知識人として、“Bushido”や“The Japanese Nation”で、日本の思想や文化などを世界に紹介し、西洋のそれらを日本に伝えた。懇請によって、創設された国際連盟事務局次長を努めるなど国際平和のために貢献した。元来、新渡戸は父祖の業を継いで、開墾拓殖の事業に従事しようと農政学を志した。北海道での拓殖計画、台湾総督府時代には甘蔗栽培・蔗糖製造の改革にあたり、台湾糖業興隆の基礎をかためた。『農業本論』などの著作があり、東京帝国大学に植民施策講座が設けられた際、初代教授に就いた。

評価 第一高等学校、東京帝国大学での愛弟子である矢内原忠雄は、『余の尊敬する人物』の中で新渡戸稲造を取り上げ、教育や国際平和への貢献を高く評価した。鶴見俊輔は新渡戸稲造を日本の近代思想史における折衷主義の正統と位置づけた。それは個人の人格を軸とする修養論と国家の制度を軸とする国体論からなっており、生前だけでなく戦後の日本でも正統の位置をしめると述べている。また、思想の特性としてやさしさ、あたたかみやパースナリズム(私的関係主義)を高く評価している。

代表作

“Bushido: The Soul of Japan, An Exposition of Japanese Thought”(武士道) 新渡戸が療養のために在米中の1899年に英文で執筆し、翌年刊行された。武士道を日本のすぐれた精神的伝統としてとらえ、外国に紹介した。英語圏だけではなく、アジア及びヨーロッパの諸国語に翻訳されて広く読まれた。英文の文体は、愛読していたカーライルの影響が認められる。全集1巻と12巻に収録。

『東西相触れて』 1928年の出版。国際連盟事務局次長を務めたジュネーブからの帰国後、西洋諸国人の人情や考え方の機微について、豊かな体験の中から綴った随想集である。全集1巻に収録。

キーワード 太平洋の橋 東京帝国大学文学部選科生の面接試験で、外山正一文学部長の問いに答えて「太平洋の橋になりたい」という志を述べた。満州事変後、橋が焼け落ちようとする危機に、日本の立場を説明するために渡米して1年にわたり講演を重ね、再度の渡航で客死するまでその志を貫いた。

最期 カナダのバンフにおける太平洋問題調査会の国際会議に出席後、1933年(昭和8)10月15日、ヴィクトリア市ジュビリー病院で死去、享年71歳。

Great Works 07

新渡戸稲造全集 全25巻 教文館 1969~2001年 <081.8/39>

解題 第1期全16巻(1969~70)は公刊された邦文・欧文の著書を網羅し、第2期(1983~87)は第17巻から第23巻までと別巻であり、著書の邦訳や英文の論文およびその翻訳、書簡を収めている。別巻2は2001年に発行された。編集委員は教え子の高木八尺等6名で、第2期から佐藤全弘が加わっている。南原繁等4名が監修者である。

内容

- 1 武士道 [岩波書店 1938年 矢内原忠雄訳] 東西相触れて [実業之日本社 1928年] 他
- 2 農業本論 [六盟館 1908年(増訂版)] 農業発達史 [大日本実業学会 1898年] Über den Japanischen Grundbesitz, dessen Verteilung... [Paul Parey 1890年 ドイツのハレ大学へ提出した学位論文]
- 3 米国建国史要 [東京有斐閣 1919年 東京帝国大学の米国建国史特別講義] 建国美談 ウヰリヤム・ペン小伝 [笠井修合との共著・発行 1895年] ウィルリアム・ペン伝 [新渡戸稲造 1894年]
- 4 植民政策講義及論文集 [岩波書店 1943年 矢内原忠雄編] 諸論文・時評など
- 5 随想録 [丁未出版社 1907年] 随感録 [子文社 1913年] 偉人群像 [実業之日本社 1931年]
- 6 帰雁の蘆 [弘道館 1908年(第4版)] 内観外望 [実業之日本社 1933年(第3版) 早稲田大学での講演速記録] 西洋の事情と思想 [実業之日本社 1934年 早稲田大学での講演速記録]
- 7 修養 [実業之日本社 1914年(第29版 縮刷版)] 自警 [実業之日本社 1929年(第15版 縮刷版)]
- 8 世渡りの道 [実業之日本社 1912年] 一日一言 [実業之日本社 1915年]
- 9 ファウスト物語 [六盟館 1910年] 衣服哲学講義 [研究社 1950年(第5版)]
- 10 人生雑感 [警醒社書店 (第3版) 初版は1915年] 人生読本 [実業之日本社 1934年]
- 11 婦人に勧めて [東京社 1918年(第4版) 初版は1917年に出版、翌年東京女子大学学長に就任している。] 一人の女 [実業之日本社 1919年] 読書と人生 [普及社 1936年]
- 12 Bushido: The Soul of Japan, An Exposition of Japanese Thought. [Kenkyusha 1935] etc.
- 13 The Japanese Nation: Its Land, Its People, and Its Life... [G.P.Putnam's Sons 1912] The Intercourse between the United States and Japan: A Historical Sketch. [The Johns Hopkins P. 1891]
- 14 Japan: Some Phases of her Problems and Development. [Ernest Benn 1931] Japanese Traits and Foreign Influences. [Kegan Paul, Trench, Trubner 1927]
- 15 Lectures on Japan: An Outline of the Development of the Japanese People and their Culture. [研究社 1939年(第4版) 新渡戸稲造の死後、夫人が編者となって刊行。] etc.
- 16 Editorial jottings. [北星堂書店 1938年 1930年から『英文毎日』に連載したもの、夫人の編で刊行]
- 17 日本国民 その国土、民衆、生活 合衆国との関係をとくに考慮して [13巻所収本の邦訳。佐藤全弘訳] 日米関係史 [ジョンズ・ホプキンス大学に提出した博士論文で、1891年に同大学が刊行(13巻) 松下菊人訳]
- 18 日本 その問題と発展の諸局面 [14巻所収本の邦訳 佐藤全弘訳] 日本人の特質と外来の影響 [14巻所収本の邦訳 加藤英倫訳]
- 19 日本文化の講義 日本国民とその文化の発達に関する概説 [15巻所収本の邦訳 松下菊人訳] 国際連盟の業績と現状 [1920年9月のベルギーでの講演を国際連盟事務局が小冊子にした 加藤武子邦訳] 他
- 20 編集余録 [16巻所収分に加え、収められなかった「編集余録」も加えて邦訳、索引を付す。佐藤全弘訳]
- 21 日本土地制度論 [1890年 滝沢義郎訳] 随想録補遺 [英文随想の内『随想録』に未掲載分 佐藤全弘訳] 他
- 22 『フレンズ・レビュー』寄稿文 [佐藤全弘訳] 他寄稿文 書簡 [日本語訳]
- 23 The Imperial Agricultural College of Sapporo, Japan. [1893] etc. Articles. Letters.
- 24 別巻 新渡戸博士追憶集 [非売品 1936年 宮部金吾著「小伝」を含む]
- 25 別巻2 月報 [『現代に生きる新渡戸稲造』 教文館 1988年] 新資料 [『新渡戸稲造研究』に掲載分]

参考文献 ~この人をもっと知るために~

< 図書 >

- 📖 新渡戸稲造 国際主義の開拓者 名誉 努力 義務 / ジョ - ジ・オーシロ著
中央大学出版部 1992年 276,7p <289.1AA / 3059> 資料番号 20459541
- 📖 新渡戸稲造伝 (伝記叢書 104) / 石井満著 *関谷書店 (昭和10年刊) の複製
大空社 1992年 1冊 <289.1 / 3176> 資料番号 20554853
- 📖 太平洋の橋 としての新渡戸稲造 / 太田雄三著
みすず書房 1986年 158p <289.1 / 2315> 資料番号 12363594
- 📖 新渡戸稲造 生涯と思想 / 佐藤全弘著
キリスト教図書出版社 1980年 507p <289.1 / 1926> 資料番号 12360442
- 📖 新渡戸稲造研究 / 東京女子大学新渡戸稲造研究会編
春秋社 1969年 562p <289.1 / 708> 資料番号 10526655

< 図書(部分) >

- 📖 日本の折衷主義 新渡戸稲造論 / 鶴見俊輔著 (鶴見俊輔著作集 第3巻)
筑摩書房 1975年 p122 - 147 <081.8 / 59 / 3> 資料番号 10159085
- 📖 新渡戸博士 / 矢内原忠雄著 (余の尊敬する人物)
岩波書店 1940年 p179 - 224 <280.4 / 1 / 1> 資料番号 10496081